

富岡無線電信局の活躍を讃える新聞記事

富岡局の大活躍 米村局長を賛美する記事が欧米各新聞のトップを飾った。

◎ ワシントンポスト紙 1923年9月4日朝刊 1面トップ



“最初に情報を伝えてきたのはただ一人の無線通信士だった”

サンフランシスコ発 9月4日、日本人の1通信士である米村氏は、土曜日に発生した大地震とそれに続いて起きた大災害の情報を日本から全世界を結ぶ“生きた連鎖”として最初に報せてきた。

米村氏は日本の東海岸で東京から北へ144哩にある富岡無線電信局の無線通信士で、この無線電信局は660フィートもある大無線塔を備え、そこから強力な電波を放射している。

米村氏は東京・横浜の惨状の情報をRCAサンフランシスコ局に打電してきたことにより、この情報は全世界に報道された。

(注、記事にはJapanese west coast とあるが東海岸に訂正した)